

腹の状態

魚 五指の指頭を前方にさし、掌を左に向けた右手を魚の休として、その手をくねらしながら前方へ進ませ、魚の水中游泳を表現する。

受合う 責任を負う。五指を彎曲して掌を下に向けた右手を、右肩の上に被ぶせるように置く。「引受け」の手まねともなる。

兎 両の肘から手先までを兎の耳として、頭の両側に腕をあてがう。(肘が前方、手は後方)

牛 両手の人差指を牛の角形に曲げて、頭の両側に置く。

失う 握りしめた右手を腰の右脇につけて、五指を開いて下を落す。

ズボンのポケットから、物を落したと云うように。

嘘(うそ)(嘘言うそう)

「欺く」「いつわる」と同

じ。即ち、口の中で、舌をねじらせて、片頬をふくらませて、その頬を人差指の指頭で叩く。

歌 唄う 声が散るのを防せぐように、五指の指頭を上になしし掌を右に向けた左手を口の左脇にあてがい、右手指頭を上になした人差指を口唇につけてから、その指を前方へリズムのつもりで上下に波を描きながら進ませる。

打合わせ 両手の指頭を上になした親指を胸の前で対立させて、折り曲げた両手の四指の背を打ち合わせる。

顔を(親指と親指)をつき合わせて談合すること。「相談」「会議」の手まねともなる。

内側 左手の五指の指頭を右になしし掌を内側にして、右手の人差指で左手掌(内側)をさす。

團扇 前の空間に両手の人差指で一つの円を描いてから、右手で身体を煽ぐ身振り。

うっかり 五指の指頭を上にしし掌を内側にした右手を顔の前で右から左へさっと素早く通過させる。眼の前を速く通過したので、うっかり見なかったこと。

美しい 五指の指頭を上にしし掌を内側にした右手で鼻頭の上を右から左へさっと二、三度撫でる。鼻頭の滑めらかなことから、「美しさ」を暗示したもの。

写す (イ) カメラに写す。「カメラ」の手

まねで、レンズになぞらえた左手の前方少し離れたところから、五指の指頭を上にしし掌を前に向けた右手を、さながら、ものを吸い込むように五指の指頭を集め合わせながら左手の下に引き寄せる。前方の対象をレンズにおさめること。(ロ) 文章或は絵図を写す。左手の上に向けた掌の上に、掌を下に向け五指を

屈めた右手を、前方から引いて来て、五指の指頭をつける。前にあるものの物をそのまま紙（左手掌）に写し取る意味。

うっとり 「一杯くった」と同じ要領でする手まね。但し、この場の手の運動はスローです。

腕利き 拳にして手甲の方を上にした左手の腕に掌を下向けた右手を叩たき降す。「腕」そのものを指示強調した身振。

腕前 「腕利き」と同じ手まね。

うどん 掌を上向けて五指を少々屈めた左手をうどんの鉢として、右手の人差指と中指を二本の箸として、長いうどんを口にもって行く動作身振。

鰻 両手の掌を下に向けて五指の指頭を左右夫々の頬に直角にさし、中指の指頭を頬につける。それを鰻の耳として、軽く両手をそのまま上下に動かす。